Java

配列 基礎



配列とは、

同じ型の複数の数字や文字などを

1つに格納して管理するもの

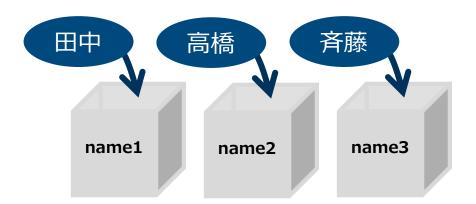
一度サイズが決められると 変更することはできない

配列のイメージ

通常:別々の変数として管理

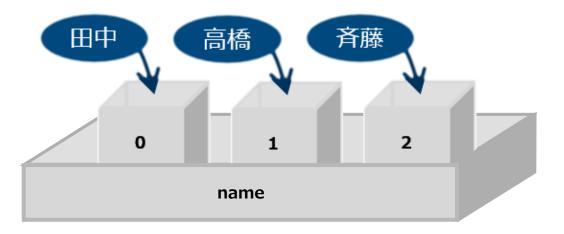
String name1="田中"; String name2="高橋"; String name3="斉藤";





配列として一括で管理

String[] name = new String[3]; name[0]="田中"; name[1]="高橋"; name[2]="斉藤";



配列のイメージ

解説

格納する箱の番号は、プログラミングの性質上必ず0から始まります。

箱に入れられた「田中」「高橋」「斉藤」を

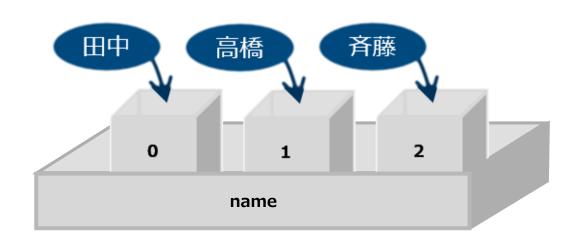
value (又は値) と呼びます。

「箱と値を合わせて」

element(又は要素)と呼びます。

箱の番号「0」「1」「2」を

key(又は添え字)と呼びます。

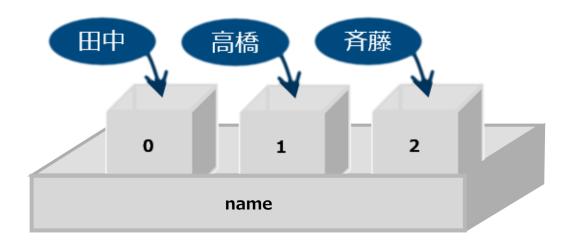


配列のイメージ

配列の各要素は、配列変数[インデックス] という形で記述します。

配列は、同じ変数で複数の要素を持つため、 インデックスの数値で何番目の要素かを特定します。

配列のインデックスは、0から始まります。



配列の書き方

解説

配列の書き方には、2通りの方法があります。

Javaファイル

```
String[] name = new String[3];
name[0]="田中";
name[1]="高橋";
name[2]="斉藤";
```

Javaファイル

```
String[] name = {"田中", "高橋", "斉藤"};
```

配列の書き方

解説

配列に値を代入した後に、それぞれの値を使用することが出来る

```
Javaファイル
                                           田中
String[] name = new String[3];
name[0]="田中";
name[1]="高橋";
name[2]="斉藤";
System.out.println(name[0]);
```

配列の書き方



配列に値を代入した後に、それぞれの値を使用することが出来る

Javaファイル

String[] name = {"田中", "高橋", "斉藤"};

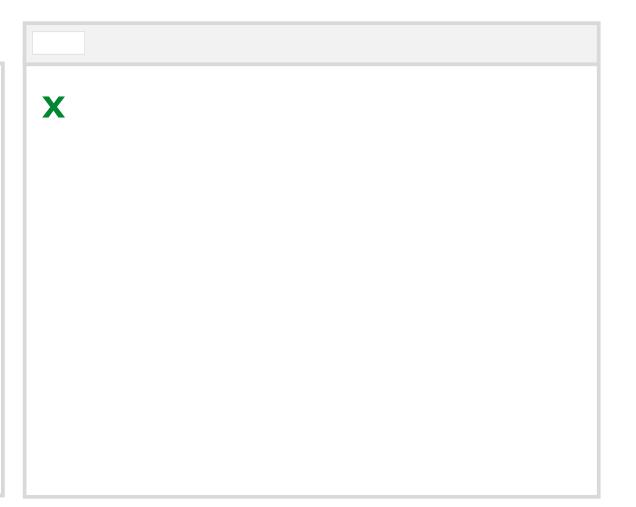
System.out.println(name[0]);



Javaファイル

char[]
$$c = \{'x', 'y', 'z'\};$$

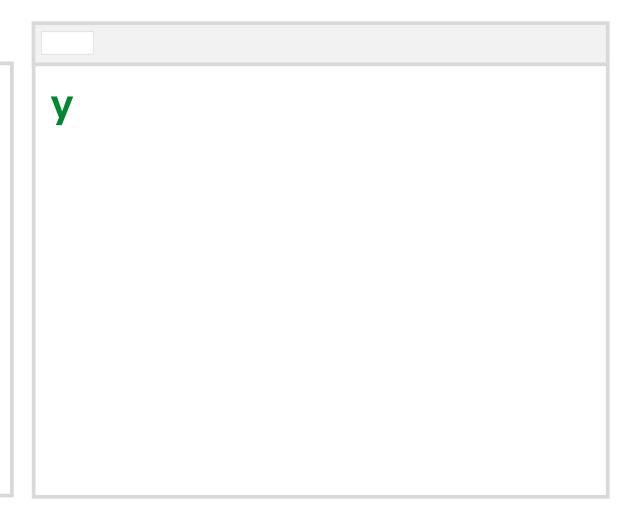
System.out.println(c[0]);



Javaファイル

char[] $c = \{'x', 'y', 'z'\};$

System.out.println(c[1]);



例文を見てみよう

Javaファイル

char[] $c = \{'x', 'y', 'z'\};$

System.out.println(c[2]);

Javaファイル

 $int[] i = \{1, 5, 10\};$

System.out.println(i[0]);

1		

例文を見てみよう

Javaファイル

 $int[] i = \{1, 5, 10\};$

System.out.println(i[1]);

5			

データの更新

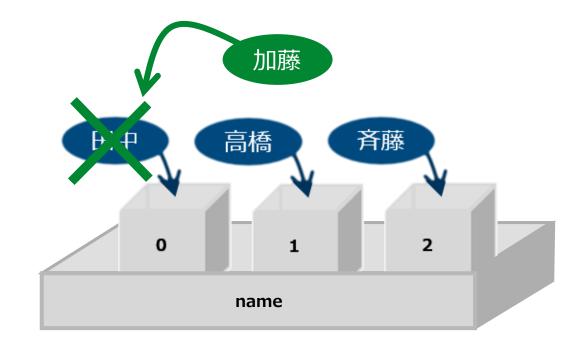
解説

一度、配列に格納した、データを更新することも可能。

Javaファイル

String[] name = {"田中", "高橋", "斉藤"};

name[0]="加藤";



更新した"加藤"を表示してみよう

Javaファイル

String[] name = {"田中", "高橋", "斉藤"};

name[0]="加藤";

System.out.println(name[0]);

加藤